

## 高校生が「正解のない問い」に向き合う 3泊4日の探究プログラム 「イノウキャンプ」をAPUで開催【5/2-5/6】

移住者が5年連続で増える「大分県」で、高校生が地方創生に挑む。

株式会社花形（京都府京都市、代表取締役：小澤忠）と立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山裕、APU）は、株式会社ディック学園（DIC）と共同で、大分県を舞台とした高校生向け宿泊型探究プログラム「イノウキャンプ2026@別府・APU」を実施します。

日本の地域社会では、人口減少や地域経済の縮小などの課題が複雑化しており、地方創生の在り方は「正解のない問い」として問われています。特に大分県では、移住者数が5年連続で過去最多を更新(\*1)する一方、県が掲げる「安心・元気・未来創造ビジョン2024」においては、若者の県内定着や還流の促進が重要なテーマとされています。人の流入と流出が交錯するこの状況は、地方創生が直面する本質的な課題を浮き彫りにしています。

こうした背景のもと、本プログラムでは『観光都市・別府の舞台裏 ー自分を受け入れてくれるまちを、受け入れる暮らしー』をテーマに、高校生が大分県別府市に滞在し、地域を歩き、人と出会い、一次情報をもとに問いを立て、自らの解釈を込めたアウトプットを制作します。地域社会を教材として「正解のない問い」に向き合う経験を通じて、これからの社会に必要とされる、自ら考え行動する人材の育成を目指します。

\*1：大分県企画振興部おおいた創生推進課「令和6年度 大分県移住実績報告」2025年5月発表



### ■開催概要

- ・ 日程：2026年5月2日（土）～5日（火）
- ・ 場所：立命館アジア太平洋大学、および別府市内
- ・ 対象：高校1年生～3年生および既卒受験生
- ・ 定員：48名限定
  
- ・ 参加費：¥48,000（税込）（高校1, 2年生の参加 ¥40,000（税込））

※プログラム料、施設利用料を含みます。

※移動費・食費は含まれません。

・ 申込締切：2026年4月15日（水）

※詳細、申込はこちらから：<https://forms.gle/8fY9outPnrto1xfUA>

### 【1日目 | 関係性構築と問いの設計】



初日は立命館アジア太平洋大学に集合し、プログラム全体の趣旨を理解しながら、チームごとに「どのような視点で別府を捉えるか」という仮説を立て、翌日のフィールドワークに向けた問いの設計を行います。

### 【2日目 | 別府で一次情報を集める】



2日目は終日、別府市内でのフィールドワークを実施。1日目の夜に発表されるフィールドワークのテーマに合わせて、地域住民へのヒアリングを行います。別府生まれの人と移住者の双方に話を聞くことで、地域の暮らしや価値観を多角的に捉えます。観光情報やインターネットでは得られない“生活者のリアル”に触れながら、自分たちの問いを深めていきます。

### 【3日目 | 問いを形にする】



フィールドワークで得た気づきをもとに、チームで議論を重ね、最終アウトプットを制作します。今回のテーマは当日発表されますが、地域の暮らしや価値観を踏まえながら、「なぜその形になるのか」「どのように別府の生活に根付くのか」を考察し、プロトタイプとして形にするような内容となる予定です。

### 【4日目 | 発表と振り返り】



最終日は成果発表を実施。制作したアウトプットの紹介に加え、どのような問いを立て、何を見て、どのように解釈したかを言語化して発表します。発表内容を、APUの教員が、「オリジナリティ」「フィールドワークとの接続性」「意図の具体化」「伝わる構造」といった観点から、「成果物」だけでなく「思考プロセス」を重視しながら評価します。

### <取材ポイント>

#### ・高校生が地域に入り込み、一次情報から問いを立てる現場

別府市内でのフィールドワークでは、高校生が地域住民へインタビューを行い、“生活者のリアル”に触れながら一次情報をもとに問いを見つけていく様子を撮影いただけます。

#### ・地方創生を自分ごととして捉える思考と創造のプロセス

人口減少という社会課題に向き合いながら、「地域の魅力とは何か」「どう関わるべきか」を議論し、最終的にアウトプットとして形にしていく一連のプロセスを取材いただけます。

#### ・教育と地方創生を接続する新たな取り組み

地域を学びの場として活用し、若い世代が地域と関わるきっかけを生み出す本プログラムは、教育と地方創生を横断する新たなモデルとして取材いただけます。

### ■取材に関するお問い合わせ

プログラムへの密着、代表や担当者へのインタビューまで、臨機応変にご対応が可能です。下記の連絡先へご相談ください。

総合型選抜専門塾AOI 広報担当

電話：050-1730-7779

メール：[pr@aoaoi.jp](mailto:pr@aoaoi.jp)

### ■地域を舞台に学ぶ探究プログラム「イノウキャンブ」とは

実社会をフィールドに問いを立てる経験を提供するのが、本プログラム「イノウキャンブ」。総合型選抜専門塾AOIが2022年から実施している高校生向けの宿泊型プログラムです。参加者が特定の地域に滞在し、現地での体験や出会いをもとに一つの成果物をつくり上げることを目的としています。その名称は、日本中を自らの足で測り歩き、世界観を「地図」という形で可視化した伊能忠敬に由来。参加者である高校生が、自分の目で見て、感じ、考えたことを、誰かに伝える形にすることに挑戦することが特徴です。

### <過去の実施事例> \*APU外での実施も含む

- ・2022年5月：北海道美幌町 ※実施レポートは[こちら](#)
  - ・2023年5月：大分県別府市（立命館アジア太平洋大学との共同開催）
  - ・2024年5月：大分県別府市（立命館アジア太平洋大学との共同開催）
- [【活動実績】APU×AOI イノウキャンブ2024](#)
- ・2025年5月：大分県別府市（立命館アジア太平洋大学との共同開催）

## ■立命館アジア太平洋大学（APU）



2000年に「自由・平和・ヒューマニティ」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念に掲げ、大分県別府市に開学した私立大学。118ヵ国・地域(2025年11月1日時点)出身の外国人留学生が学生の半数を占め、THE日本大学ランキング2025では「国際性」全国2位、「教育充実度」全国3位の評価を受けています。多文化多国籍環境のもとで、協働学習や日英2言語での教育を提供し、グローバル教育をけん引しています。

- ・大学名：立命館アジア太平洋大学（APU）
- ・住所：〒874-8577 大分県別府市十文字原 1 丁目 1 番
- ・学長：米山 裕
- ・開学：2000 年 4 月
- ・URL：<https://www.apu.ac.jp/home/>
- ・大学の理念：「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」

## ■ディック学園グループ



家庭教師の派遣、学習塾、通信制サポート校、レゴ・ブロックプログラミング教室、パソコン教室、ホームページ制作、フィットネスジムなど九州を中心に 40 校展開、DIC学園は今年創立 47 周年を迎えました。「教育サービス接客業に徹すること」を目標に掲げ、お客様に喜ばれ感謝されるDIC学園をテーマに日々邁進しています。また、今後社会でますます必要とされてくるIT社会を生き抜くお子さまの力になれるようにIT分野教育、資格取得等の取組みにも力を入れています。

- ・社名：DIC学園グループ
- ・住所：〒870-0027 大分市末広町 2 丁目 10 番 24 号DIC学園ビル 7 F
- ・代表者：赤嶺 一夫
- ・設立：1977 年 1 月
- ・URL：<https://www.d-gakuen.co.jp/>
- ・事業内容：家庭教師派遣、個別指導塾、進学教室、通信制高校（サポート校）、ホームページ制作のエディス、レゴ・ブロックプログラミング教室

## ■総合型選抜専門塾AOI



総合型選抜専門塾AOIは、総合型選抜の対策を専門とした大学受験対策塾。

「自分っぽい人生の一步目を踏み出すために」というミッションのもと大学合格をゴールと捉えず、高校生一人ひとりの将来と一緒に考え人生に寄り添う教育を行なっています。高校生の経験や感じたことに向き合い、一緒に「将来」を考え様々な可能性を与えるべく、完全1対1のコーチング個別授業を取り入れています。

2025年度入試においては96.6%（※）の合格率を誇っており、2026年1月現在、京都校・大阪校・西宮北口校・渋谷校・上野校・横浜校・大分校・オンライン校と、全国に8校舎を展開しています。

- ・社名：株式会社 花形
- ・住所：〒600-8090 京都府京都市下京区綾小路烏丸東入る竹屋之町251番地2 ナカムラビル2階
- ・代表取締役：小澤 忠
- ・設立：2017年3月
- ・会社URL：<https://hanagata.co/>
- ・AOI サービスサイト：<https://aoai.jp/>
- ・総合型選抜専門塾AOI チャンネル（登録者数 2.05万人）\*2025年3月4日時点：[https://www.youtube.com/@A0\\_AOI\\_ch](https://www.youtube.com/@A0_AOI_ch)

※2025年度入試 花形内部データ「大学・学部を3つ以上受験した生徒」より参照